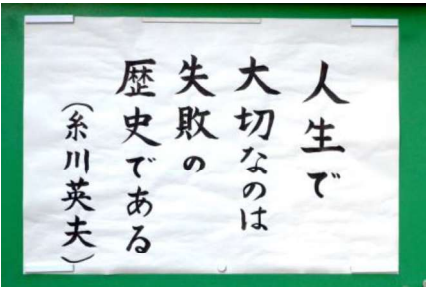
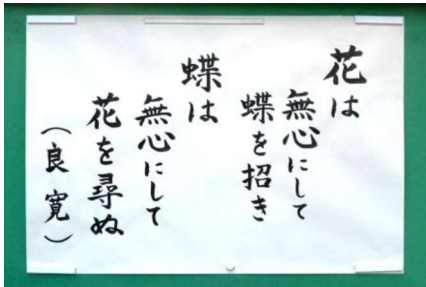


月々の言葉 ～安楽寺 伝道掲示板から～

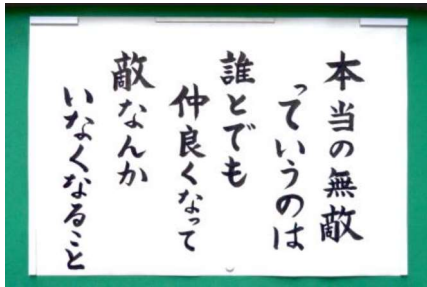
お寺の入り口の伝道掲示板に、その時々を言葉に掲げています。



2025年2月



2025年3月



2025年4月



参道脇をリフォームして植栽を整えました



(植栽施行前の参道・2月初旬)



お彼岸前の3月14日にきれいに整いました

春のお彼岸前に参道脇をリフォームして植栽を整えました。コンクリートブロック塀に杉皮を貼って参道から本堂へのつながりを感じられるようにし、砂利とコケによって和風の趣を演出し、たくさんの草花を植えました。

以前は牡丹や紫陽花を植えていましたが、周りを高いビルに囲まれているため日当たりが悪く、残念ながらあまり咲かなくなりました。植木屋さんに相談し環境にあった植栽を選んでもらったところ見違えるほどきれいになりました。

季節ごとにいろいろな花が咲くはずです。いらした時にぜひゆっくりご覧ください。



ヒメウツギ(3月)



ミヤマオダマキ(4月)



ハナショウブ(4月)



シラユキゲンジ(4月)



ミツバツツジ(4月)

「定例法話会」の今後の予定(毎月第3日曜日 午後2時～)

伝道掲示板の言葉をもとにお話させていただきます。いつでもご参加ください。

(4月は20日に開催しました) 5月18日(日) 6月15日(日)

安楽寺だより 第62号

〒105-0014 東京都港区芝1丁目12-18 電話:03-3451-1509 FAX:03-3798-2238

発行者: 藤澤 克己(安楽寺住職) ホームページ <https://anraku-ji.org/>



(安楽寺だよりは1月・4月・7月・10月に発行します。家族みなでお読みください。)

安楽寺 前坊守が往生しました

去る3月31日、母であり安楽寺前坊守の藤澤元子が92歳で往生しました。生前に賜りましたご厚情に心より御礼申し上げます。



通夜・葬儀は4月9日・10日に多くの方々のお力添え・ご協力をいただき、無事に執り行うことができました。また、御門主より達書にて「清浄院釋慈元」という院号法名をご授与いただきましたこと、ここに謹んでご報告いたします。

母は昨年2月に貧血で救急搬送されたあと自宅療養となりました。身体を動かしたり話したり食べたりが少しずつできなくなりましたが、家族に見守られて穏やかな最期でした。

遺影は約3年前に家族で会食に出掛けたときの写真です。いつも私たちのことを気にかけて、あたたかい眼差しで見守っていてくれた母の姿が思い出されます。



「^{くえい}俱^{いっしょ}会^{とち}一^{ところ}処」(俱に一つの処で会う)という教説が『仏説阿弥陀経』に示されています。

今生での縁が尽きると阿弥陀さまが建てられたお浄土という一つ場所で共に会える、と示されているのです。

先に往生した父(前住職)ともまた会えている、私もまた会えると思うと安心できます。

《あれこれ抄》

▼春の「安楽寺だより」をお届けします▽母・前坊守の葬儀がありましたので約十日遅れの発行となります▼母は五人姉妹の末っ子として安楽寺に生まれました▽父と結婚してしばらくは神奈川県に住んでいましたが、三十代半ばから亡くなるまで安楽寺で過ごしました▼寺の玄關でお墓参りの方とお話するのが好きでした▽母に会えないのが寂しいと言われることが多いです▼晩年、調子の良いき羽田空港などにドライブに連れ出せたのは良い思い出です▽空港から飛び立つ飛行機を見るのが好きでした▼導師を勤めた證誠寺に住職がいつも穏やかだった母のことを「和顔愛語」(2ページ参照)を実践した人と話していただきました

通夜・葬儀でお世話になりました

前坊守・藤澤元子の通夜・葬儀を4月9日・10日に執り行いましたところ、お忙しい中、たくさんの方々に御会葬・御焼香をいただき、さらに、ご丁重なる弔辞、香資、供花を賜りましたこと、深く感謝いたします。

式中は御会葬くださった皆さまにご挨拶することができず申し訳ありませんでした。この場をお借りしてお詫びいたします。



達書にて院号法名を授与いただきました



喪主（住職）挨拶



通夜・葬儀に芝組住職たちが出仕



色とりどりの花荘厳

【知っていただきたいお経の言葉】

わ げ ん あ い ご
和顔愛語

〔 和やかな顔とやさしい言葉 〕
『仏説無量寿経』

「和顔愛語」は、和やかな表情（笑顔）と愛情のこもったやさしい言葉が、接する人の心にぬくもりを与える、という仏さまのお徳・おはたらきを示す言葉です。

私たちは仏さまの教えに触れることによって正しい道を知ることができます。たとえ真似事と言われようとも、仏さまのお徳を志して生きる人へと育てられていくのです。

和やかな表情とやさしい言葉が周りの人にも笑顔をもたらし、穏やかに過ごす時間が増えるかもしれません。そんな「和顔愛語」の輪が広がっていくことを願います。

2025(令和7)年 安楽寺永代経法要のご案内

安楽寺では毎年5月10日に「永代経法要」をお勤めしています。

大切なお経（阿弥陀さまのお救いの教え）を永代にわたって伝えていくことを慶ぶ法縁が永代経法要のお勤めです。今年は土曜日ですので、是非とも より多くの方々にご参拝いただければと思います。

日 時： 5月10日(土) 14時～15時40分頃

※お斎(お食事)はありません、ご了承ください。

お勤め： 仏説阿弥陀経 （芝組法中勤め合い）

ご法話： 赤川浄友 氏（相模組 座間恵光寺・布教使）



この度お迎えするご講師は「笑い伝道士」、「笑い療法士」の肩書をもつ異色のお坊さんです。仏さまの み教え を分かりやすく楽しく伝えてくださいます。

《季節の思い出》

春のお彼岸には多くの方がお墓参りにいらっしゃり
安楽寺の墓地は一気に華やぎました



お彼岸お中日の前日、雷に始まり、雹、雪、雨、晴れと、目まぐるしく天気が変わりました。わずかでしたが参道や墓地にも雪がうっすらと積まりました。

